

# 平成26年度市民ノーマイカーデーに関するアンケート調査結果

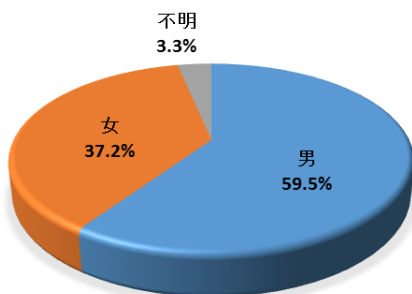
平成26年度市民ノーマイカーデーの実績報告者は234人、アンケート提出が215件であった。(アンケート回収率91.9%)

## 問1 あなたの性別・年齢について

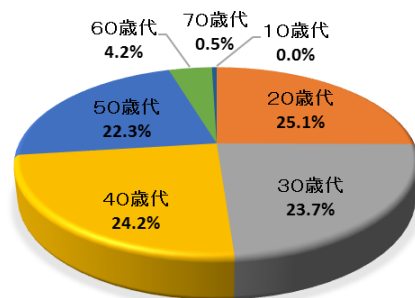
参加者の男女比は男59.5%、女37.2%であった。

年齢構成は、20歳代が25.1%と最も多く、次いで40歳代、30歳代、50歳代の順となり、10歳代の参加者は無かった。

問1 性別



問1 年齢

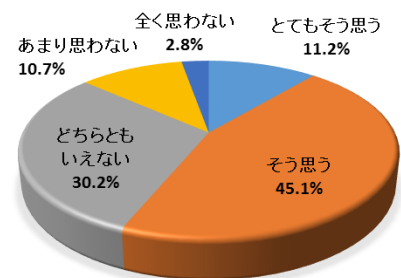


## 問2 「ノーマイカーデー」に参加してどのように感じたかお聞かせください (1) 今後、マイカーの利用を減らそうと考えるきっかけになりましたか？

「とてもそう思う」、「そう思う」を合わせると半数以上を占めるが、「どちらともいえない」も30.2%と一定数いることは、これまでと同様の傾向である。

また、「あまり思わない」、「全く思わない」を合わせた比率は昨年よりも、1.5%増加している。

問2 マイカー利用を減らすきっかけになりましたか？

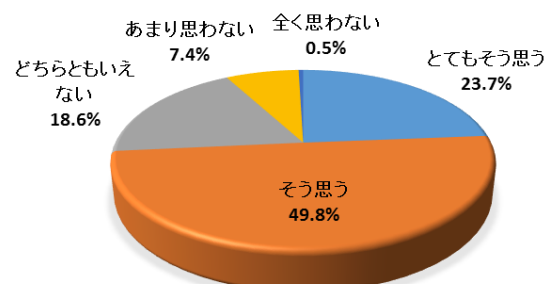


## (2) ノーマイカーデーの取り組みは、環境意識の向上に役立つと思いますか？

「とてもそう思う」、「そう思う」を合わせると73.5%で、昨年より3.5%低下したものの、環境意識の向上に一定の効果があると考えられる。

一方で「どちらともいえない」が18.6%と昨年より4.6%増加していることから、今後は、環境面での効果について、情報発信を強化することが必要である。

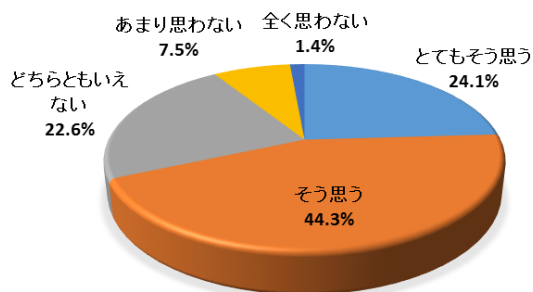
問2 環境意識の向上に役立つと思いますか？



(3) ノーマイカーデーの取り組みは、健康増進や運動不足解消に役立つと思いますか？

ノーマイカーデーの副次的な効果についての質問であるが、「とてもそう思う」、「そう思う」を合わせると68.4%となり、環境意識の向上には及ばないものの、健康増進や運動不足解消にも一定の効果があると考える参加者も多いことから、今後、ノーマイカーデーの取り組み拡大に向け、これらの副次的効果についても積極的にPRすることも必要と考える。

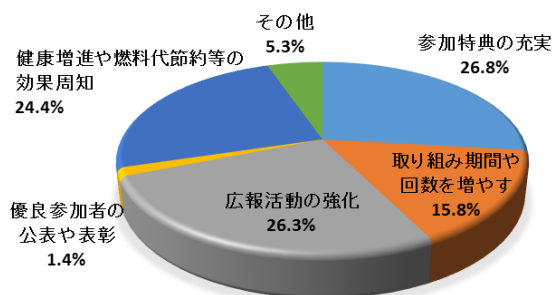
問2 健康増進や運動不足解消に役立つと思いますか？



(4) 公共交通の利便性向上以外で、ノーマイカーデーの取り組みを拡大・継続するためには何が最も重要と考えますか？

「参加特典の充実」が26.8%で最も多く、次いで「広報活動の強化」が26.3%、「健康増進や燃料代節約等の効果周知」が24.4%であった。  
これら上位3つの選択肢を合わせると77.5%であり、次回開催の参考としたい。  
一方で「取り組み期間や回数を増やす」は15.8%に留まった。

問2 何が最も重要と考えますか？

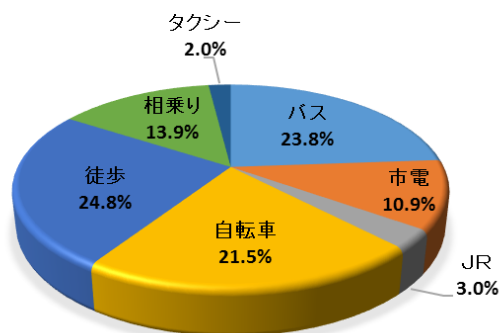


問3 移動手段とその利便性についてお聞きします

(1) 利用した移動手段についてお答えください。(複数回答)

「徒歩」が24.8%と最も多く、次いで「バス」が23.8%、「自転車」21.5%、「相乗り」13.9%、「市電」10.9%となり、上位5番目までは昨年と同じ順位であった。  
なお、移動目的は約8割が通勤であり、参加者の平均移動距離は、7.6kmであった。

問3 利用した移動手段

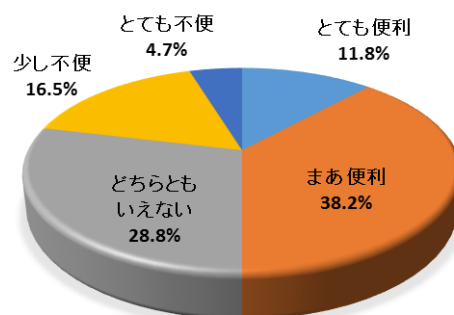


## (2) 利用した移動手段の利便性はいかがでしたか？

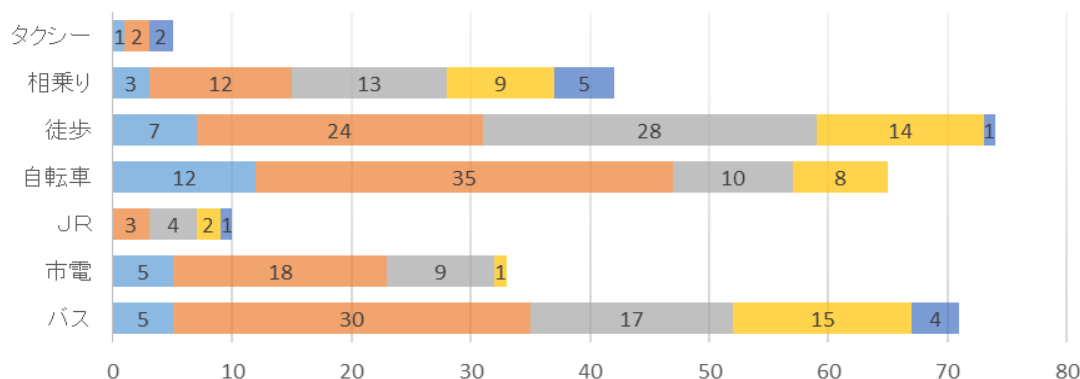
「とても便利」、「まあ便利」を合わせると50%となり、参加者の半数は比較的快適に移動している。

移動手段別で「とても便利」、「まあ便利」を合わせた回答が多いのは、自転車、バス、徒歩の順であるが、バスと徒歩については、「少し不便」、「とても不便」を合わせた回答も多いことから、利便性の評価が分かれる結果となった。

問3 利用した移動手段の利便性



## 利用した移動手段の利便性



|           | バス | 市電 | JR | 自転車 | 徒歩 | 相乗り | タクシー |
|-----------|----|----|----|-----|----|-----|------|
| とても便利     | 5  | 5  | 0  | 12  | 7  | 3   | 1    |
| まあ便利      | 30 | 18 | 3  | 35  | 24 | 12  | 2    |
| どちらともいえない | 17 | 9  | 4  | 10  | 28 | 13  | 0    |
| 少し不便      | 15 | 1  | 2  | 8   | 14 | 9   | 0    |
| とても不便     | 4  | 0  | 1  | 0   | 1  | 5   | 2    |

■とても便利 ■まあ便利 ■どちらともいえない ■少し不便 ■とても不便

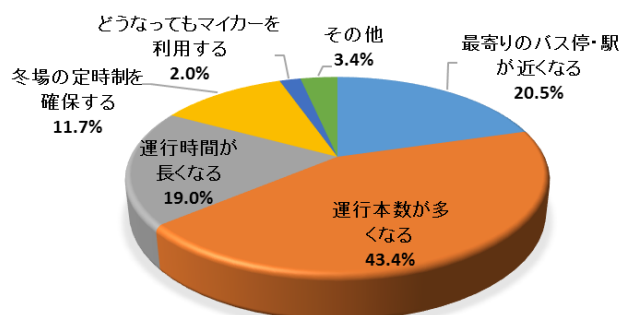
## 問4 公共交通サービスのこういった点が改善されれば、ノーマイカーでの移動が増えると思いますか？

「運行本数が多くなる」が43.4%で昨年と同様に最も多く、「最寄りのバス停・駅が近くなる」が20.5%で昨年の3番目から一つ順位を上げて2番目となった。

次いで「運行時間が長くなる」が19.0%でパーセンテージは昨年と同じであるが、順位は3番目となった。

「どうなってもマイカーを利用する」は昨年の11%から2%に大きく減少した。

問4 公共交通のこういった点が改善されるとノーマイカーでの移動が増えますか？

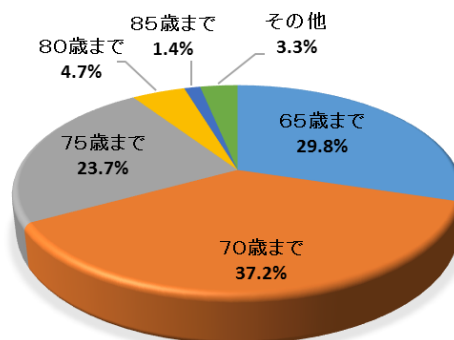


## 問5 あなたは何歳まで安全にマイカーの運転を続けられると考えていますか？

「70歳まで」が37.2%で最も多く、次いで「65歳まで」が29.8%、「75歳まで」が23.7%となり、これら上位3つの選択肢合計で90.7%となった。

このことから、多くの方が70歳前後まで安全にマイカーの運転を続けられると考えていることが判明した。

### 問5 何歳まで安全に運転できると考えていますか？



## 問6 今回のノーマイカーデーへ参加されて、ご意見、ご感想などあればお聞かせください。

全体で58件の意見、感想があり、主な意見、感想は以下のとおり。

### 【主な意見、感想】

- ・バス利用してみましたが、かなり便利と感じました。特に到着時間までの残り時間がわかるのは非常に良かった。
- ・環境や健康面での意識が高まり、今後も続けて行こうと思います。
- ・市電・バスのロケーションを増やす必要があると思う。
- ・夏期間での活動では自転車等の移動手段があるが、冬期間だと公共交通が必要となる人がより多くなるため、よりその活動の効果を知ることができると思う。あまり効果は感じられなかった。
- ・仕事をしていると行きは利用しても、帰りの便がないと感じたので、休日に利用したいと思いました。
- ・近場を歩くきっかけになりました。
- ・市内中心部に住んでいますが、マイカー自体、さほど必要性を感じません。函館バスも市電も便利です。
- ・環境のことを意識する良いきっかけになったと思います。また、燃料代が高騰している今がある意味、ノーマイカーを考える良いきっかけとなる時期なのではないでしょうか。この取り組みを知らない方、特に一般の住民の方がたくさんいらっしゃると思います。まずは、この取り組みをたくさんの人に知ってもらい、ノーマイカーデーへの参加者が増えれば、日々の生活の中でも意識してくれる人が増えるかと思っています。
- ・ラッピングバスを走らせるなどして、もっと市民に周知すると良いと思いました。
- ・車とちがって、自転車に乗ることで、すがすがしい気持ちになりました。
- ・車を使わない生活にもっと慣れて、環境問題についてもしっかり考えなければいけないと思いました。
- ・函館市内のバスの時間があまりない事に残念だと思った。公共機関の充実を上げてほしい。買い物するだけでも車を使わないとダメなところもあった。
- ・環境意識はとてつきますが、公共交通サービスが悪いので少し不便です。

- ・マイカーを使わない意識が高まるので、市だけではなく国で取り組んでも良いと思いました。住んでいる所のバスの本数が非常に少ないので、マイカー中心の移動は現状では、変えられません。交通機関が充実するとマイカーに頼ることが減るのではないのでしょうか。
- ・まだまだ交通手段が十分ではないと思いますが、改善できると、マイカーなしでも可能だと思います。
- ・年に何回か公共交通を利用していきたいと感じたのと、環境のことを考える機会になった。
- ・ハイブリッドカーでの通勤をやめて旧型のタクシー等のガソリンを垂れ流す車で通勤することが環境保全につながるのか不明である。
- ・自転車での参加でしたが、駐輪する場合、繁華街等は止めづらい。
- ・いつも週1、2回は徒歩通勤しているが、今回、ノーマイカーデーに参加した事で回数が増えて良かった。体重が落ちました。
- ・職場での積極的に参加する仲間が増加している。協議会の地道な活動がゆっくりとではあるが、広くひろまってきていることのあかしであると感じます。
- ・バスに乗る機会の一つになりました。
- ・道路の自転車走行帯の整備
- ・バスの運行時間帯が極端に短い（地域によっては最終便が20時前だったりする）ため、通勤手段としては使い物にならないということで、何名かに参加を断られました。バスの営業時間について意見する機会はないのでしょうか？
- ・郊外に出かける時は、どうしてもマイカーを利用せざるを得ないのが残念でした。
- ・健康増進、環境問題の点からもう少し参加する人が増えて、考え方が変われば良いと思います。
- ・もう少し暖かい時期（6月～9月）実施が良いと思います。
- ・3月頃から月1回程度行った方が良い